



平成 28 年 8 月 5 日

各 位

大阪府中央区道修町 1 丁目 6 番 7 号
株式会社 ODK ソリューションズ
代表取締役社長 西井 生和
(コード番号: 3839 東証 JASDAQ)
問い合わせ先: 企画総務部長 作本 宜之
電話番号: (06) 6202-0413
U R L : <http://www.odk.co.jp>

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 8 月 5 日開催の取締役会において、株式会社ファルコホールディングス（代表取締役社長：赤澤 寛治 以下、ファルコHD）を処分先とする第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分要領

(1) 処 分 期 日	平成 28 年 8 月 23 日
(2) 処 分 株 式 数	300,000 株
(3) 処 分 価 額	1 株につき 317 円
(4) 処 分 価 額 の 総 額	95,100,000 円
(5) 処 分 方 法	第三者割当による処分
(6) 処 分 予 定 先	株式会社ファルコホールディングス
(7) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく通知書の効力発生を条件とします。

2. 処分の目的及び理由

当社は、保有する自己株式の活用について検討してまいりましたが、このたび、その一環としてファルコHDとの関係を強化し、収益基盤を強化することを主目的に本件第三者割当による自己株式の処分を行うことといたしました。

当社では、アライアンス・M&Aを活用した新規事業創出を中期経営計画の基本戦略に掲げ、保有する自己株式の有効活用を模索しております。

こうした中、ファルコHDとの協業事業を推しすすめるための資金調達手段を検討してまいりましたが、事業上のシナジー効果が期待できること、長期の株式保有が期待できること等の理由から、ファルコHDを割当先とした自己株式の処分による資金調達が望ましいと判断いたしました。詳細は、「6.

(2) 処分予定先を選定した理由」をご覧ください。

なお、調達資金は、同社との成長戦略実現に向けて備えることを目的としております。

また、相手方の企業価値に対する利害関係を強めることが、業務提携に対するコミットをより強め、今後の事業展開を加速させるとの判断から、本日付で業務・資本提携契約を締結し、当社は、ファルコHDが発行する株式10,000株（発行済株式総数の0.08%）を取得いたします。本件の詳細に関しましては、別途開示いたしております「株式会社ファルコホールディングスとの業務・資本提携に関するお知

らせ」をご覧ください。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	95,100,000円
② 発行諸費用の概算額	500,000円
③ 差引手取概算額	94,600,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税は含まれておりません。

2. 発行諸費用の内訳は、有価証券通知書等の書類作成費用及び公告費用等を予定しております。

(2) 調達する資金の具体的な使途

本自己株式処分は、処分予定先であるファルコHDとの業務・資本提携契約書に基づくものであります。本自己株式処分により調達する資金は、業務・資本提携契約書に基づく当社によるファルコHD株式取得費用に充当し、残りは主にファルコHD子会社である株式会社ファルコバイオシステムズ（代表取締役社長：江口 宏志 以下、ファルコバイオシステムズ）の臨床検査システムの運用業務に必要な運転資金に充当する予定であります。なお、調達された資金は実際の支出時期まで当社の銀行口座にて管理いたします。

具体的な使途	金額	支出予定時期
ファルコHD株式取得	約 14 百万円	平成 28 年 8 月～9 月
臨床検査システム運用業務の運転資金	約 81 百万円	平成 28 年 8 月～平成 29 年 3 月

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本自己株式処分により調達する資金は、当社の企業価値向上のための施策に使用するものであることから、合理性があるものと考えております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額は、本自己株式処分に関する取締役会決議の直前営業日（平成 28 年 8 月 4 日）の株式会社東京証券取引所 JASDAQ 市場における当社終値に相当する価額 317 円といたしました。結果として、取締役会決議の直前営業日までの 1 ヶ月終値平均（円未満切捨て）に対しプレミアム率 1.27%、3 ヶ月終値平均（円未満切捨て）に対しディスカウント率 0.93%、6 ヶ月終値平均（円未満切捨て）と同額となっております。

上記を算定の基準としたのは、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にて、第三者割当を行う場合の第三者割当増資に係る払込金額は、取締役会決議の直前営業日の価額を基準とするとされていること、取締役会決議の直前営業日の株価が、取締役会決議の直前営業日までの 1 ヶ月終値平均株価、3 ヶ月終値平均株価、6 ヶ月終値平均株価と比較し大幅な乖離がないことから、算定時に最も近い時点の市場価格である取締役会決議の直前営業日の終値が、現時点における当社に対する評価を最も適切に反映しており、算定根拠として客観性が高く合理的であると判断し、処分予定先と協議のうえ決定したものであります。

なお、本自己株式処分に関する取締役会決議に参加した社外監査役 2 名を含む監査役 3 名全員からも、本自己株式処分の価額は、当該株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にしていること、参考とした市場価格は取締役会決議の直前営業日終値であり、当社の直近の状況が市場評価に反映されていると考えられることから、適正かつ妥当な価格であり、処分予定先に特に有利でなく適法である旨の見解を受けております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本自己株式処分により、ファルコHDに割当てる当社普通株式 300,000 株は、当社発行済株式総数



8,200,000株(平成28年3月31日現在)に対し3.65%(小数点以下第3位を切捨て、総議決権数72,995個(平成28年3月31日現在)に対する割合4.10%)であります。

当社といたしましては、本件の処分予定先との資本関係を生じさせることは、処分予定先との関係強化並びに継続的な取引基盤の強化を図り、ストックビジネスの拡充ひいては財務体質の強化に資するものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 処分予定先の選定理由等

(1) 処分予定先の概要

(平成28年3月31日現在)

① 名 称	株式会社ファルコホールディングス		
② 所 在 地	京都市中京区河原町通二条上清水町346番地		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 赤澤 寛治		
④ 事 業 内 容	受託臨床検査、ITビジネス、ヒト遺伝子検査、治験研究検査、食品衛生・環境検査、調剤薬局事業		
⑤ 資 本 金	3,371,000,000円		
⑥ 設 立 年 月 日	昭和57年8月24日		
⑦ 発 行 済 株 式 数	11,280,177株		
⑧ 決 算 期	3月		
⑨ 従 業 員 数	1,486名(連結)		
⑩ 主 要 取 引 先	国立病院機構、公立病院、大学附属病院、病院・診療所、検査センター、企業等		
⑪ 主 要 取 引 銀 行	株式会社京都銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社		
⑫ 大株主及び持株比率	株式会社京都銀行	4.71%	
	ファルコホールディングス従業員持株会	3.85%	
	赤澤 寛治	3.24%	
	平崎 健治郎	2.97%	
	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.80%	
	株式会社ビー・エム・エル	2.79%	
	株式会社ホルスクリエーションズアカザワ	2.67%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2.03%	
	大阪中小企業投資育成株式会社	1.84%	
	金田 直樹	1.79%	
⑬ 当事会社間の関係			
資 本 関 係	両当事会社の間には、記載すべき資本関係はありません。また、両当事会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
人 的 関 係	両当事会社の間には、記載すべき人的関係はありません。また、両当事会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
取 引 関 係	当社と処分予定先は、平成28年2月24日付で業務提携に関する基本合意書を締結しており、同契約に基づき、当社は処分予定先のグループ会社に対して、臨床検査業務に係るシステム運用サービスにおいて、取引関係があります。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	両当事会社は、それぞれの関連当事者には該当しません。また、両当事会社の関係者及び関係会社は、それぞれの関連当事者には該当しません。		
⑭ 最近3年間の経営成績及び財政状態			
	株式会社ファルコホールディングス(連結)		(単位:百万円)
決 算 期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期

連 結 純 資 産	15,772	16,365	16,766
連 結 総 資 産	32,878	30,192	30,906
1株当たり連結純資産(円)	1,368.86	1,459.99	1,504.50
連 結 売 上 高	58,401	46,593	48,727
連 結 営 業 利 益	1,117	1,675	2,114
連 結 経 常 利 益	1,118	1,825	2,229
親会社株主に帰属する連結当期純利益	2,278	1,117	1,347
1株当たり連結当期純利益(円)	189.11	98.97	120.44
1株当たり配当金(円)	30.00	36.00	38.00

※処分予定先であるファルコHDは、株式会社東京証券取引所市場第一部に上場しており、会社の履歴、役員、主要株主等について有価証券報告書等において公表しております。また、処分予定先は、平成28年6月27日に株式会社東京証券取引所に提出した「コーポレート・ガバナンス報告書」に記載している「内部統制システム等に関する事項」において、反社会的勢力に対し一切の関係を遮断し毅然たる対応を徹底する基本方針を定め、「反社会的勢力に対する行動基準、倫理方針」に基づく行動に努めるとともに、外部専門機関との連携を通じ、反社会的勢力に関する情報を共有化していることを公表しております。以上より、当社は、処分予定先及び処分予定先子会社、これらの役員並びに主要株主が反社会的勢力及び特定団体等（暴力若しくは威力を用い、又は詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体）とは一切関係がないものと判断しております。なお、当社と処分予定先は、平成28年2月24日付で「反社会的勢力排除に関する覚書」を締結しております。

(2) 処分予定先を選定した理由

当社は、金融機関及び学校法人向け情報処理アウトソーシングサービスを提供しております。最近では、マイナンバー管理をはじめとした機密性の高い大量の情報を取扱うBPO（※）サービスを提供しているほか、情報処理アウトソーシングとWebのメリットを融合した即時性の高いシステムソリューションを開発・提供しております。

一方、ファルコグループは、臨床検査事業、調剤薬局事業を主な事業としており、遺伝子検査や治験研究検査等、医療総合サービスを展開しております。特に、ファルコバイオシステムズにおいては、臨床検査データの提供等を通じて医療機関をサポートしております。

当社は、事業戦略として「新たな領域へのチャレンジ」や「アライアンス・M&Aを活用した新規事業創出」を掲げ、その展開に取り組んでまいりました。平成28年2月24日に「株式会社ファルコホールディングスとの業務提携に関する基本合意のお知らせ」を開示いたしております。

平成28年6月には、ファルコバイオシステムズの臨床検査システムの運用業務を受託開始する等、相互の強みの融合による企業価値向上を目指しており、今般、一層緊密な協力体制を確立し、業務提携することが望ましいとの共通認識に達しております。

また、業務提携の推進にあたり、両社が互いの株式を保有し、相手方の企業価値に対する利害関係を強めることが本業務提携に対するコミットをより強め、今後の事業展開を加速させるとの判断のもとに資本提携を行い、新たな価値の創出に向けて、より一層積極的に取り組んでまいります。

※BPO：ビジネスプロセスアウトソーシング（Business Process Outsourcing）の略で、自社の業務の一部を外部の専門業者に企画・設計・運営まで一括して委託すること。

(3) 処分予定先の保有方針

当社は、処分予定先であるファルコHDから、本自己株式処分により取得する株式について、業務・資本提携契約書の主旨に鑑み、長期的に継続して保有する意向であることを確認しております。

なお、当社は処分予定先であるファルコHDより、処分後2年以内に本件株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちにその内容を当社に書面により報告する旨、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に書面により報告する旨及び当該報告の内容が公衆の縦覧に供されることに同意する旨の確約書を受領する予定です。

(4) 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、処分予定先の第 29 期有価証券報告書（平成 28 年 6 月 24 日提出）に記載されている財務諸表により、本自己株式処分に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（平成 28 年 3 月 31 日現在）		処 分 後	
株式会社学研ホールディングス	18.49%	株式会社学研ホールディングス	17.76%
ナカバヤシ株式会社	6.16%	ナカバヤシ株式会社	5.92%
日本通信紙株式会社	5.47%	日本通信紙株式会社	5.26%
廣田証券株式会社	4.11%	廣田証券株式会社	3.94%
日本システム技術株式会社	4.10%	日本システム技術株式会社	3.94%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4.10%	株式会社ファルコホールディングス	3.94%
株式会社三井住友銀行	4.10%	株式会社三菱東京UFJ銀行	3.94%
株式会社りそな銀行	4.10%	株式会社三井住友銀行	3.94%
ODK従業員持株会	3.21%	株式会社りそな銀行	3.94%
情報システムサービス株式会社	2.73%	ODK従業員持株会	3.09%

(注) 1. 当社は、自己株式を 900,000 株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

なお、処分後の当社自己株式保有数は 600,000 株となります。

2. 処分後の大株主及び持株比率については、平成 28 年 3 月 31 日現在の株主名簿を基準として、本自己株式処分による移動を考慮したものです。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

8. 今後の見通し

本自己株式処分による平成 29 年 3 月期の当社業績予想への影響はございません。本件で当社株式を長期にわたり保有いただける株主が増えることは、経営の安定化につながり、中長期的に両社の企業価値・株主価値向上に資するものと考えております。なお、今後の業績に与える影響につきましては、来期以降の業績予想に織込んでおります。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動をとまなうものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（連結）

（単位：百万円）

	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
連 結 売 上 高	3,239	3,319	3,486
連 結 営 業 利 益	290	177	108
連 結 経 常 利 益	359	203	136
親会社株主に帰属する連結当期純利益	237	92	67
1 株当たり連結当期純利益（円）	(※) 31.93	12.63	9.22
1 株当たり配当金（円）	(※) 10.00	10.00	10.00
1 株当たり連結純資産（円）	(※) 539.12	539.89	544.44

※当社は、平成 25 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。平成 26 年 3 月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり連結当期純利益及び 1 株当たり配当金並びに 1 株当たり連結純資産を算定しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成28年3月31日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	8,200,000 株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成26年3月期 ^(※)	平成27年3月期	平成28年3月期
始 値	390 円	—	311 円
高 値	550 円	395 円	434 円
安 値	313 円	256 円	262 円
終 値	360 円	310 円	318 円

※当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期の各値については、平成26年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。

②最近6カ月間の状況

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
始 値	342 円	325 円	314 円	310 円	325 円	316 円
高 値	396 円	340 円	320 円	390 円	357 円	350 円
安 値	274 円	305 円	283 円	308 円	291 円	299 円
終 値	324 円	318 円	320 円	326 円	311 円	313 円

③処分決議日前営業日における株価

	平成28年8月4日
始 値	313 円
高 値	318 円
安 値	313 円
終 値	317 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 処分要項

- (1) 処 分 株 式 数 300,000 株
- (2) 処 分 価 額 1株につき317円
- (3) 処 分 価 額 の 総 額 95,100,000 円
- (4) 処 分 方 法 第三者割当による処分
- (5) 処 分 期 日 平成28年8月23日
- (6) 処 分 後 の 自 己 株 式 数 600,000 株

以 上